

2011年（平成23年）10月20日（木）東奥日報に掲載

⑤「褒めてあげることも重要」

「うちの犬、まだ産まれて1年しか経ってないけど、いつからしつけすればいいんですか？」

たまに、こんな相談の電話が動物愛護センターにかかってくる。

「いやいや、ホントはもう遅いですよ・・・」心の中で思わず呟いてしまいます。

犬の成長は人間よりもずっと早いです。「目の中に入れても痛くない」かわいい仔犬も、あっという間に大人になっていきます・・・犬の1歳は、人間だと約20歳に相当します。



「三つ子の魂百まで」という諺がありますが、犬の場合「生後2～4ヶ月の魂百まで」です。

子犬の脳は、生後2ヶ月くらいから急速に発達し、生後4ヶ月（長くても生後6ヶ月）くらいまでには、その回路が形成されてしまうとされています。

この生後2か月から4ヶ月くらいまでの時期（社会化期）を上手に過ごしてあげることが何より重要になります。

社会化期には、大人になってから経験することを全て体験させなければなりません。車に乗せたり、色々な人や動物に逢わせたり、楽しく動物病院を訪れたり、人通りの多いところを歩かせたり・・・

実は、大きくなって問題行動を起こす犬の多くが、この社会化期の体験不足によることが多いです。「かわいい子には旅をさせろ」という諺もありますが、犬の場合「かわいい仔犬には経験をさせろ」なのです。

そして犬をしつける上で最も大事なことは「たくさん褒める」ことです。仔犬は人間にとって良い行動もしますが、反対に人間にとって悪い行動もします。でも、仔犬は人間にとって何が良い行動で、何が悪い行動か分かりません。

仔犬が悪い行動をした時に叱るのではなく、仔犬が何かいい行動をした時に積極的に声をかけ、「たくさん褒めてあげる」ことこそ重要なのです。（次号へつづく）

